

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
～ 「真の学力」育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

自ら学びに向かう児童の育成

＜本年度の学力向上策＞

- ・よい授業のアンケート4つの因子のうち算数科では学習のまとめや練習問題をしっかり行う授業になるよう徹底し、「基礎アップ」にかかわる取組をさらに充実させる。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を行う。また、学力を定着させるために、家庭と協力して学習習慣を身に付けさせるために、家庭との連携を密にとれる方策を工夫する。
- ・SA、少人数指導者を効果的に活用する。TTの授業の工夫や習熟度別、少人数指導などを行い、個に応じた支援の仕方の工夫・改善を行う。
- ・ICT機器を活用した授業づくり。
- ・ユニバーサルデザインの考えを生かした学習環境づくり。
- ・昨年度は朝行事で週2回基礎・基本の定着に向けた学習を行ったが、今年度はその時間がGSになる。基礎・基本の定着を図る時間を家庭学習に充てるなどし、基礎基本の学習に取り組む時間を保証していく。

＜本年度の振り返り＞

- ・算数科を中心に研究を進め、児童が課題解決や適用問題に取り組める時間を十分に確保するようにした。
- ・学校で統一した家庭学習の手引きの作成を行った。次年度から活用していく。
- ・SAとのTTや少人数指導を行ったことで、個別に支援が必要な児童に寄り添うことができ、効果が上がった。
- ・視覚的に捉えやすいように、算数や国語の授業でICT機器を効果的に活用することができた。
- ・算数科の図形領域、数量領域における正答率が低く、継続的な課題が見られる（市調査）
- ・ユニバーサルデザインの考えを生かした学習環境づくりを行い、授業に集中できる教室環境を整えた。